

【報道関係各位】

～独身男女 1000 人調査～
結婚意識と婚活に関する調査

- 約 8 割の独身男女が「結婚したい」と回答。理由は「精神的な安定が欲しいから (60%)」
- 不景気の中、結婚意識が高まった女性は 27%、男性は 14%。理想は「夫婦共働き」
- 女性は「経済力を重視」、一方で男性は「将来が不安で、結婚を考える余裕がない」
- 今後したい婚活、女性は「外見磨き (65%)」「料理と家事のスキルアップ (60%)」
男性は「仕事のスキルを磨く (51%)」「収入をアップさせる (48%)」

2009 年 2 月 24 日
株式会社マクロミル
(証券コード: 東証一部 3730)

インターネット調査会社の株式会社マクロミル (本社: 東京都港区、社長: 辻本秀幸) は、1 都 3 県 (東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県) 25～49 才の独身男女に、「結婚意識と婚活に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間 2009 年 2 月 10 日 (火) ～2 月 11 日 (水)。有効回答数は 1000 名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 約 8 割の独身男女が「結婚したい」と回答。理由は「精神的な安定が欲しいから (60%)」

1 都 3 県 25～49 歳の独身男女に、将来、結婚したいと思うか尋ねたところ、「今すぐにも結婚したい」と回答した人は 11%、「結婚したい」が 27%、「できれば結婚したい」が 39%となり、合計で 76%の人が「結婚したい」と回答しました。

結婚したいと思う理由は、「精神的な安定が欲しいから」が 60%で最多。次いで「好きな人とずっと一緒にいたいから」が 59%、「孤独な老後はいやだから」が 50%となりました。

【2】 不景気の中、結婚意識が高まった女性は 27%、男性は 14%。理想は「夫婦共働き」

不景気と言われている中で、結婚に対する意識に変化があったかを尋ねたところ、「結婚したいという気持ちが高まった (高まった+少し高まった)」と回答した人は全体で 19%となりました。男女別にみると、女性で結婚意識が高まった人は 27%で、男性 (14%) に比べ近頃の経済不安が結婚意識の高まりに影響を与えた割合が高いようです。また、結婚後の生活スタイルとして「夫婦共働き」を希望する人は 67%となりました。

【3】 女性は「経済力を重視」、一方で男性は「将来が不安で、結婚を考える余裕がない」

結婚後の経済面に関して、女性で「結婚しても生活レベルは落としたいくない」と回答した人は 86%、「結婚に重要なのは経済力である」は 81%といずれも男性に比べ多くなっており、女性は男性に比べ結婚に対して経済力を重視する傾向がみられました。一方、男性は「自分の将来が不安で、結婚を考える余裕はない」と考えている人が 46%と半数を占めています。

**【4】 今後したい婚活、女性は「外見磨き (65%)」「料理と家事のスキルアップ (60%)」
男性は「仕事のスキルを磨く (51%)」「収入をアップさせる (48%)」**

現在婚活中の人と今後婚活を予定している人に対して、これからどのような婚活をしたいと思っているか尋ねました。男性では「仕事のスキルを磨く」が 51%で最も多く、次いで「収入をアップさせる」が 48%でした。一方、女性では「外見に気をつかう」が 65%で最も多く、次いで「料理や家事のスキルを磨く」が 60%となっています。

「～独身男女 1000 人調査～ 結婚意識と婚活に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ						
調査地域:	1都3県（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）						
調査対象:	25～49歳の独身男女（マクロミルモニタ会員）						
有効回答数:	合計 1000 サンプル		25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
		男性	220s	178s	100s	65s	43s
		女性	168s	114s	57s	34s	21s
※性年代別に平成17年国勢調査の未婚率に合わせる形で回収。							
調査日時:	2009年2月10日（火）～2月11日（水）						
調査機関:	株式会社マクロミル						

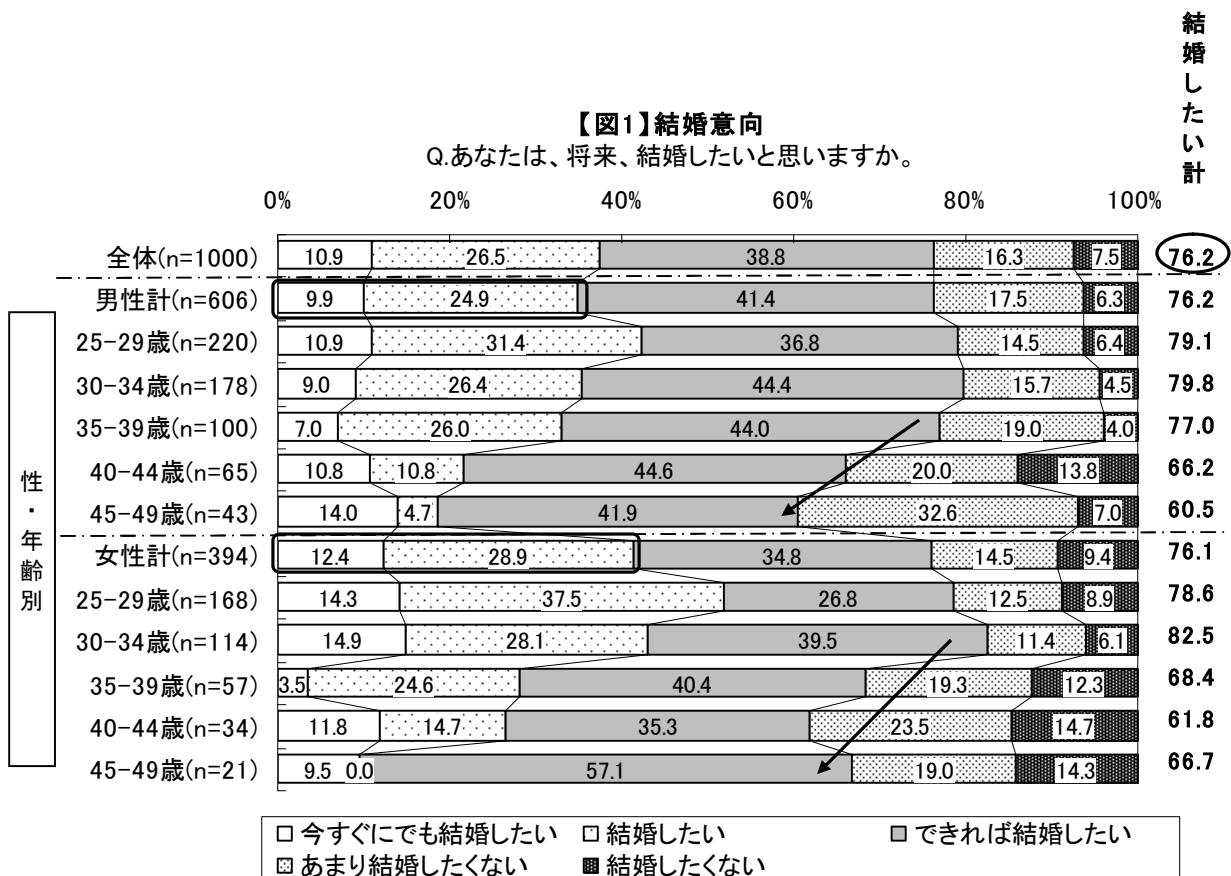
I. 結婚意識について

■ 約8割の独身男女が「結婚したい」と回答

1都3県25～49歳の独身男女に、将来、結婚したいと思うか尋ねたところ、「今すぐにも結婚したい」と回答した人は11%、「結婚したい」が27%、「できれば結婚したい」が39%となり、合計で76%の人が「結婚したい」と回答しました。

男女別にみても、「結婚したい(+今すぐ、できれば)」と回答した人はそれぞれ76%でしたが、「今すぐにも結婚したい」「結婚したい」のみの合計をみると、男性が35%、女性が41%で女性のほうが結婚に対して積極的な意識を持っている割合が多いようです。

性・年齢別にみると、男性では40歳以上、女性では35歳以上で「結婚したい」と回答する割合が低くなっています。（図1）



※n=30以下は参考値としてご覧ください

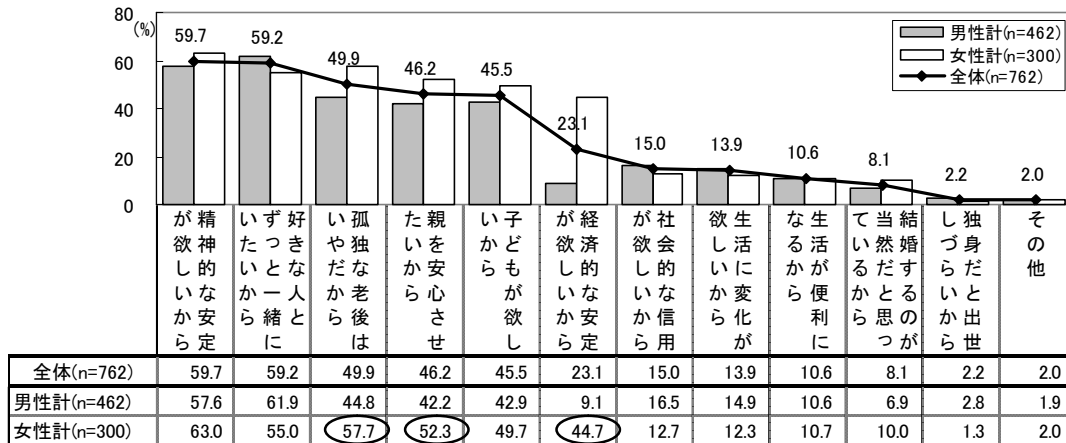
■ 結婚したいと思う理由は「精神的な安定が欲しいから」が60%でトップ
次いで「好きな人とずっと一緒にいたいから」が59%

将来「結婚したい」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「精神的な安定が欲しいから」が60%で最多、次いで「好きな人とずっと一緒にいたいから」が59%、「孤独な老後はいやだから」が50%となりました。

男女別にみると、女性では「経済的な安定が欲しいから」が45%、「孤独な老後はいやだから」が58%、「親を安心させたいから」が52%と、それぞれ男性に比べ高い割合になっています。(図2)

【図2】結婚したい理由

Q.あなたが、結婚したいと思う理由であてはまるものをお知らせください。(複数回答)
<ベース:結婚したいと考えている人>



※n=30以下は参考値としてご覧ください

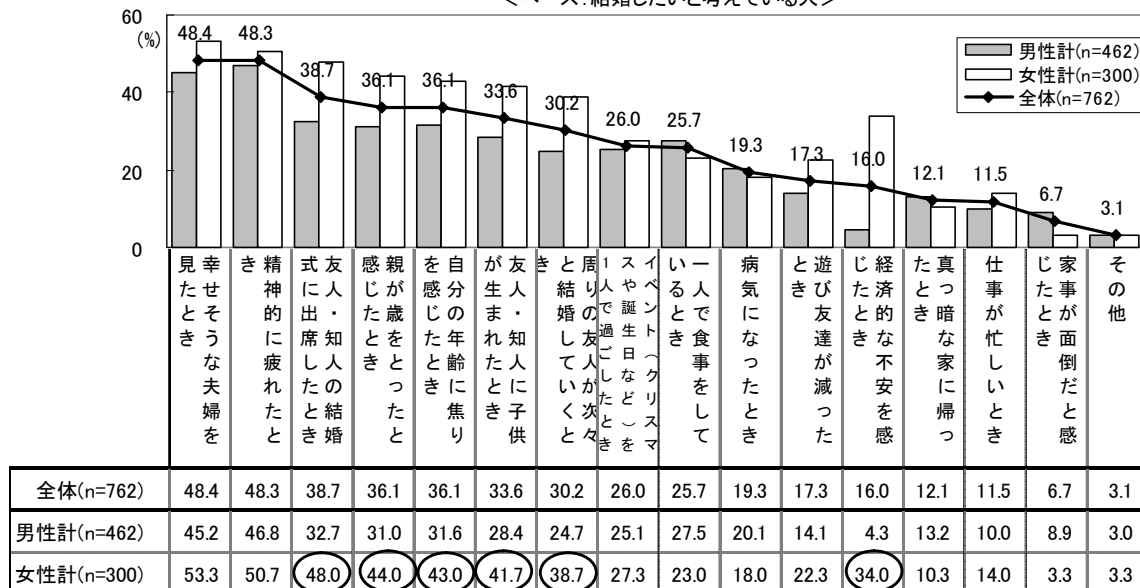
■ 結婚したいと思うのは、「幸せそうな夫婦を見たとき」「精神的に疲れたとき」が48%

どのようなときに結婚したいと思うのか尋ねたところ、「幸せそうな夫婦を見たとき」「精神的に疲れたとき」がそれぞれ48%で最も高い割合になりました。

男女別にみると、女性では「経済的な不安を感じたとき」が34%で、男性の4%に比べ高い割合になっています。その他にも「友人・知人の結婚式に出席したとき」や「周りの友人が次々と結婚していくとき」、「友人・知人に子供が生まれたとき」、「親が歳をとったと感じたとき」、「自分の年齢に焦りを感じたとき」などの項目で、男性に比べ10ポイント以上多くなっています。女性は男性に比べ、結婚したいと思うシーンが多岐にわたるようです。(図3)

【図3】結婚したいと思うとき

Q.あなたは、どのようなときに結婚したいと思いますか。(複数回答)
<ベース:結婚したいと考えている人>



※n=30以下は参考値としてご覧ください

■ 結婚相手を選ぶとき重視する条件は
1位「フィーリング・相性(68%)」、2位「優しさ(49%)」、3位「誠実さ(44%)」

結婚相手を選ぶ際に重視する条件を尋ねたところ、「フィーリング・相性」が68%で最も多く、次いで「優しさ」が49%、「誠実さ」が44%となりました。

女性では、「収入・経済力」が40%で3位に入っています。(図4)

【図4】結婚相手を選ぶ条件

Q.あなたが、結婚相手を選ぶ際、重視する条件は何ですか。あてはまるものをお知らせください。(上位3つまで)
<ベース:結婚したいと考えている人> ※上位10位のみ掲載

順位	全体(n=762)	%	順位	男性計(n=462)	%	順位	女性計(n=300)	%
1	フィーリング・相性	67.5	1	フィーリング・相性	67.5	1	フィーリング・相性	67.3
2	優しさ	49.2	2	優しさ	56.1	2	誠実さ	55.3
3	誠実さ	43.8	3	誠実さ	36.4	3	収入・経済力	39.7
4	収入・経済力	17.2	4	顔	18.2	4	優しさ	38.7
5	浮気をしない	13.1	5	浮気をしない	14.5	5	健康	11.3
6	顔	12.7		知性	14.5		家事・育児に対する能力・姿勢	11.3
7	知性	12.3	7	趣味	13.4	7	浮気をしない	11.0
8	趣味	12.2	8	自分の仕事に対する理解力	12.6	8	趣味	10.3
9	家事・育児に対する能力・姿勢	11.8	9	家事・育児に対する能力・姿勢	12.1	9	自分の仕事に対する理解力	9.0
10	自分の仕事に対する理解力	11.2	10	スタイル	10.6		知性	9.0

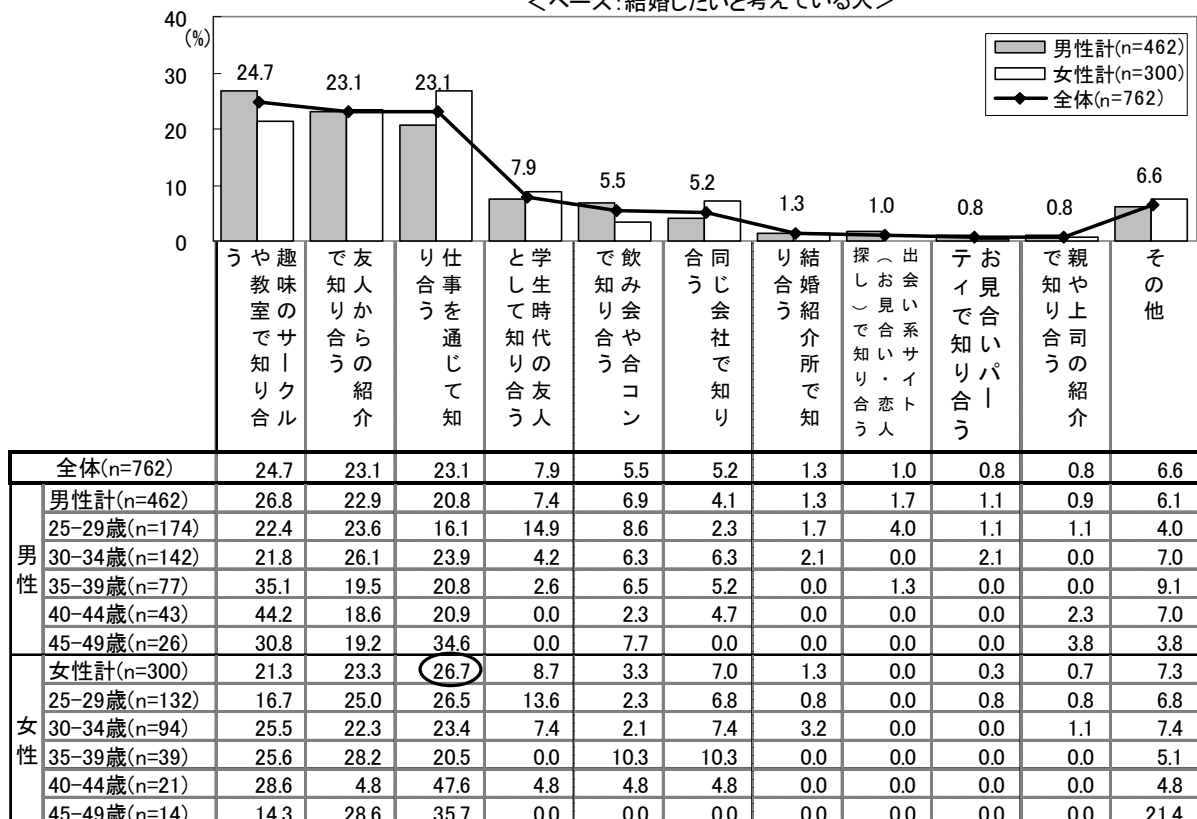
■ 結婚相手との理想的な出会いは「趣味のサークルや教室で知り合う」が25%
次いで「友人からの紹介で知り合う」「仕事を通じて知り合う」がそれぞれ23%

結婚相手とのとの出会いは、どのような出会いが理想的だと思うか尋ねたところ、「趣味のサークルや教室で知り合う」が25%、次いで「友人からの紹介で知り合う」「仕事を通じて知り合う」がそれぞれ23%となりました。

男女別にみると、女性では「仕事を通じて知り合う」が27%で最も多くなっています。(図5)

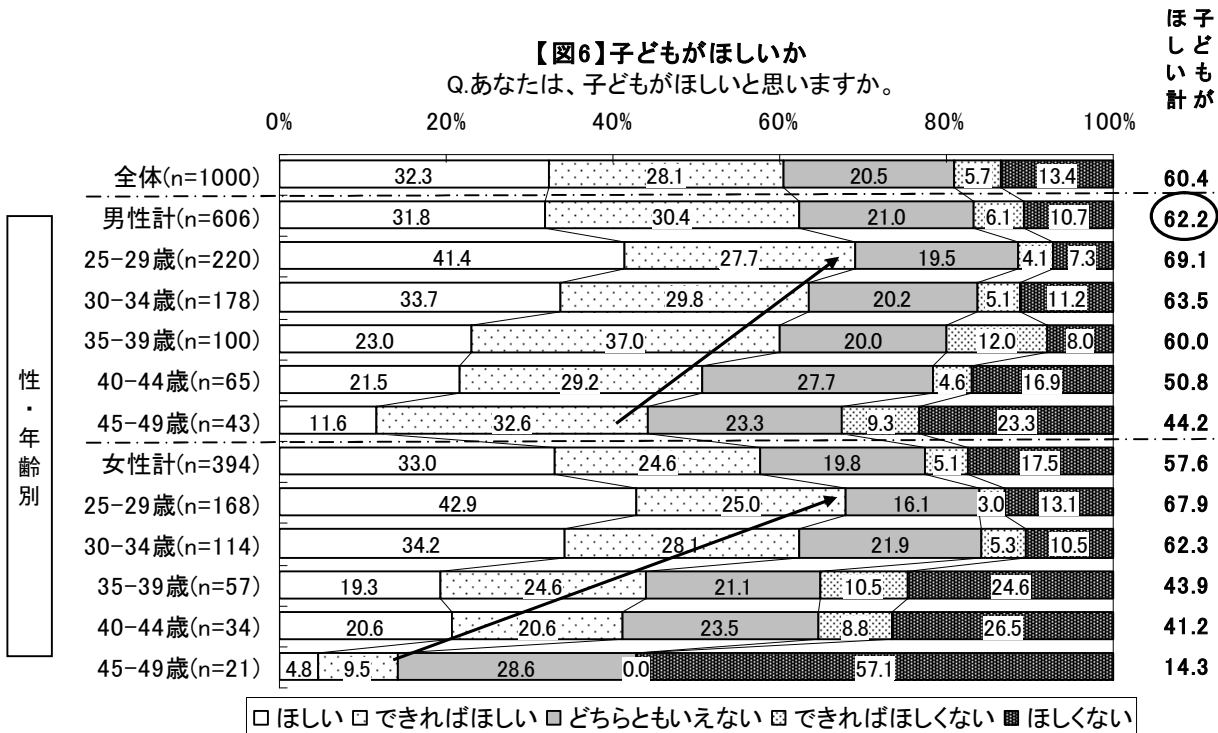
【図5】結婚相手との理想的な出会い

Q.あなたにとって、結婚相手との理想的な出会いはどのようなものですか。(単数回答)
<ベース:結婚したいと考えている人>



■ 6割が子供を「ほしい」と回答

子どもを欲しいと思うか尋ねたところ、「ほしい(ほしい+できればほしい)」と回答した人は60%でした。男女別にみると、男性で「ほしい」と回答した割合は62%と、女性(58%)に比べやや多くなっています。男女とも若年層ほど子どもがほしいと考えている人の割合が高くなっています。(図6)

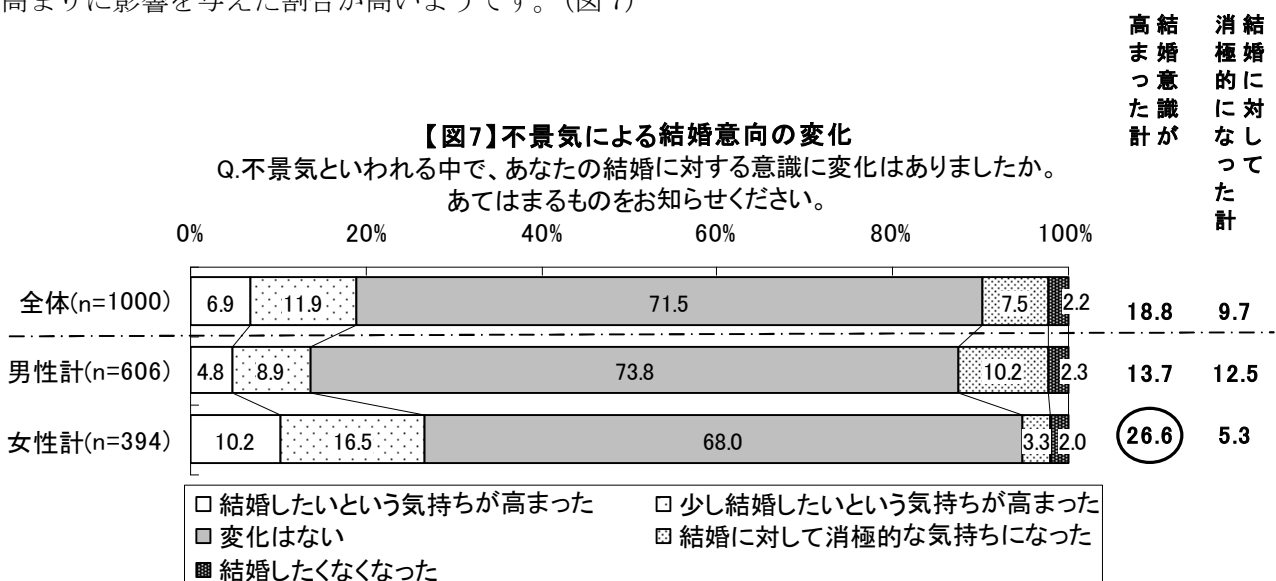


※n=30以下は参考値としてご覧ください

■ 不景気の中、結婚意識が高まった女性は27%、男性は14%

不景気と言われている中で、結婚に対する意識に変化があったかを尋ねたところ、「結婚したいという気持ちが高まった(高まった+少し高まった)」と回答した人は全体で19%となりました。一方、「結婚しなくなかった」「結婚に対して消極的な気持ちになった」と回答した人は合計で10%でした。

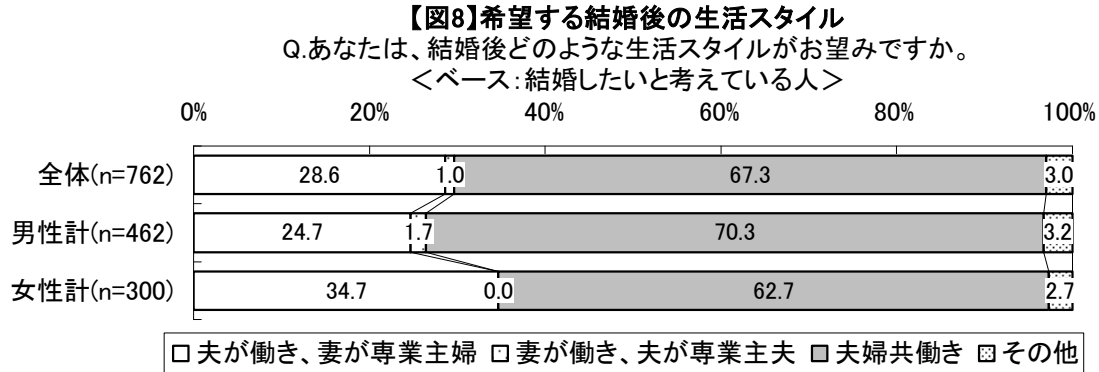
男女別にみると、女性で結婚意識が高まった人は27%で、男性(14%)に比べ近頃の経済不安が結婚意識の高まりに影響を与えた割合が高いようです。(図7)



■ 結婚後、理想の生活スタイルは「夫婦共働き」が67%

結婚後どのような生活スタイルを希望しているか尋ねたところ、「夫婦共働き」が67%となりました。

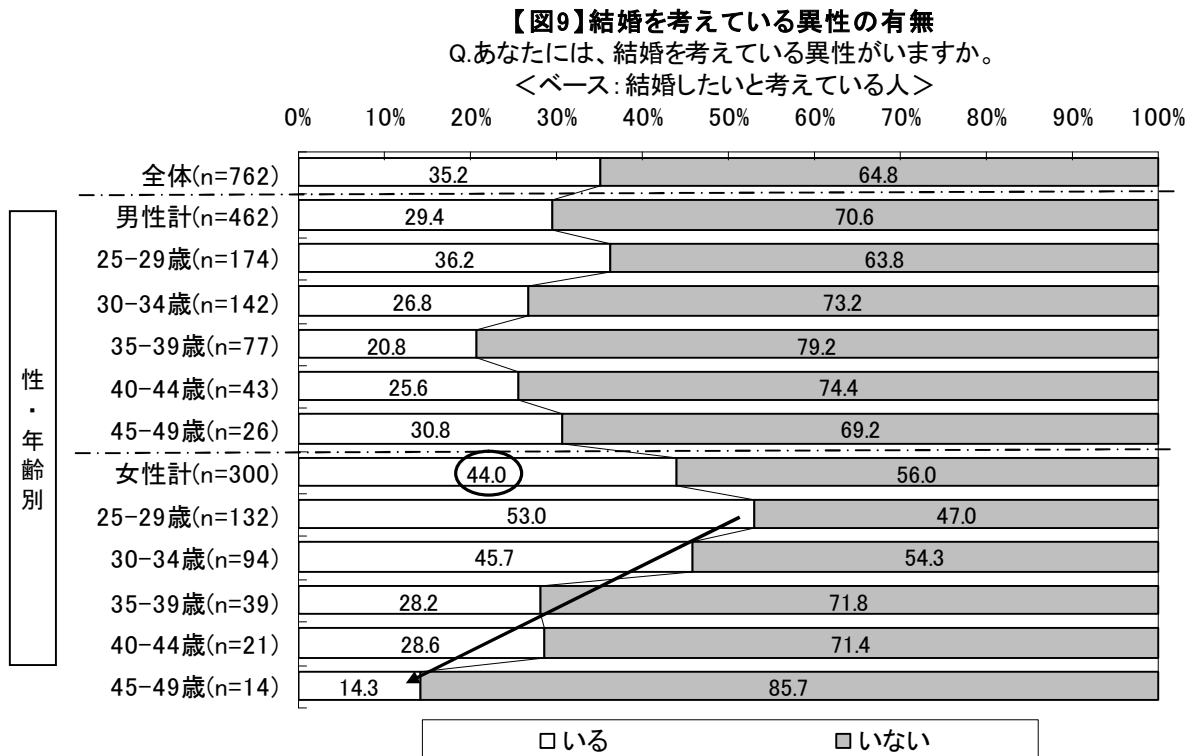
男女別に見ると、女性では「夫が働き、妻が専業主婦」と回答した人は35%で、男性に比べ10ポイント高い割合になっており、男性が希望しているよりも専業主婦を望む女性の割合が高くなっています。(図8)



■ 結婚を考えている異性がいる人は35%

結婚を考えている異性がいるか尋ねたところ、「いる」と回答した人は35%でした。

女性では「いる」と回答した割合が44%と、男性(29%)に比べて多くなっています。また、女性は年齢が上がるにつれ、結婚を考えている異性のいない割合が高くなっています。(図9)

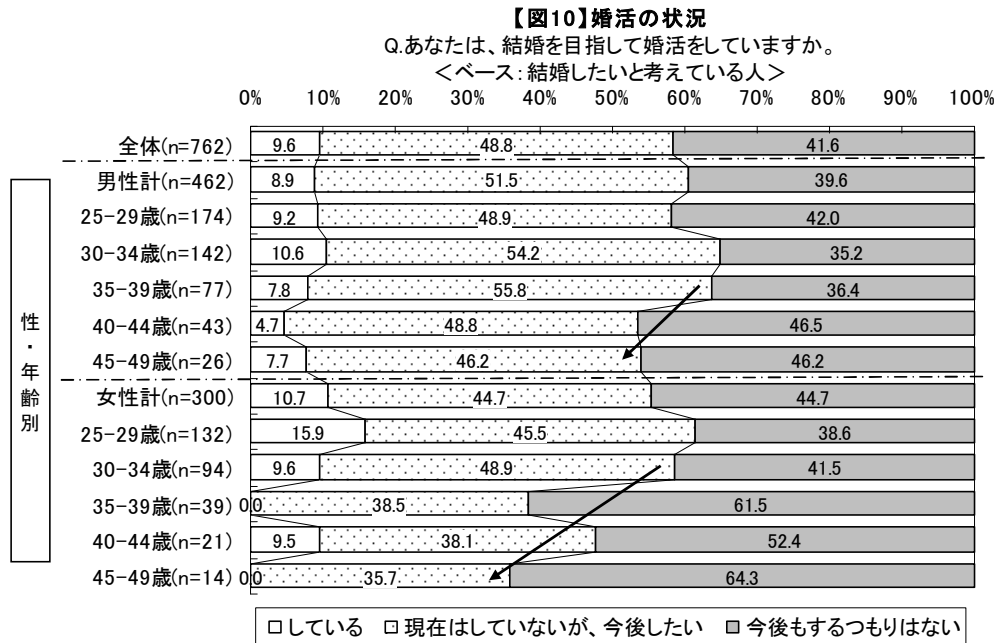


※n=30以下は参考値としてご覧ください

II. 婚活について

■ 「現在、婚活をしている」は約1割、「今後婚活したい」は約5割

現在婚活をしているか尋ねたところ、「している」が10%、「現在はしていないが、今後したい」と回答した人は49%になりました。性・年齢別にみると、男性では40歳以降、女性では35歳以降で婚活を「するつもりはない」と回答する割合が増えており、特に女性ではその差が大きくなっています。(図10)

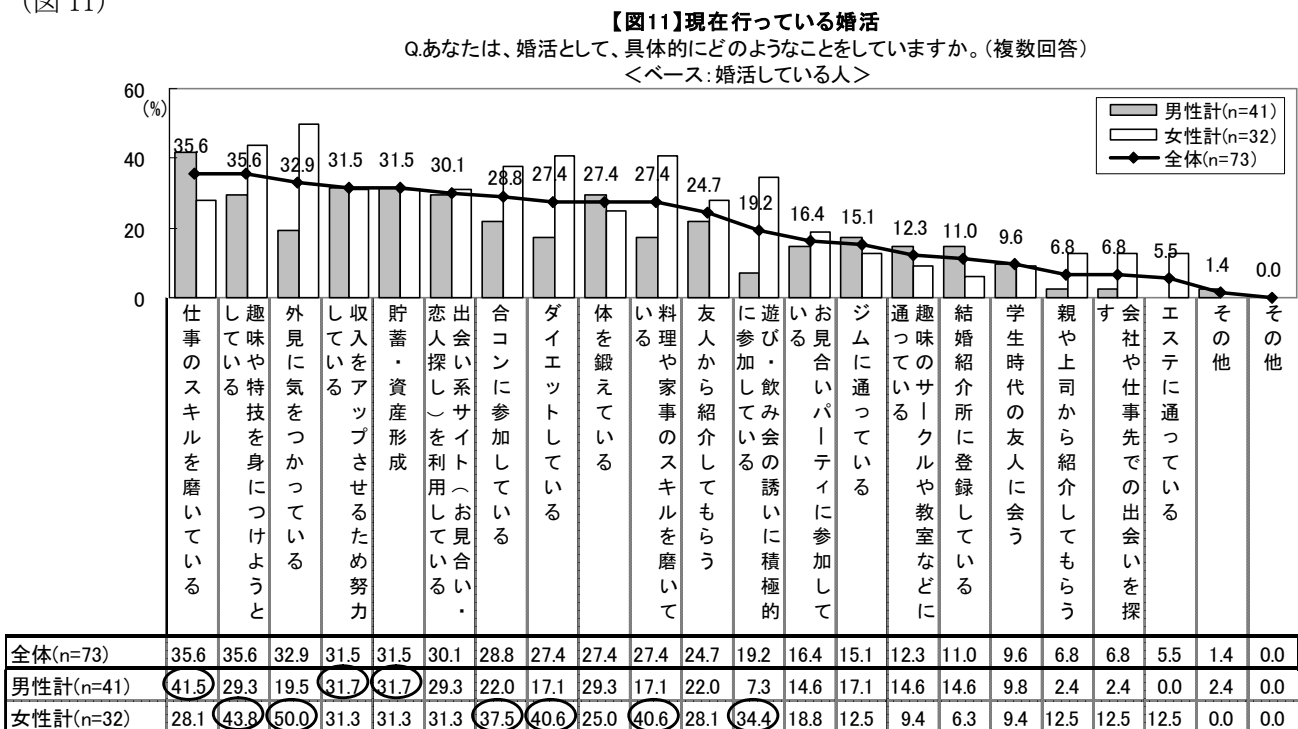


※n=30以下は参考値としてご覧ください

■ 婚活の内容、女性は「外見を磨く」、男性は「仕事のスキルを磨く」

現在婚活中の人に、どのような婚活をしているか尋ねたところ、女性では「外見に気がつかっている」が50%で最も多くなっています。その他、合コンへの参加やダイエット、遊びや飲み会への参加、料理や趣味というように、自分磨きや出会いの場への参加を積極的に行っているようです。一方男性では、「仕事のスキルを磨く」が42%で最も多く、次いで「収入アップの努力」「貯蓄・資産形成」がそれぞれ32%となりました。

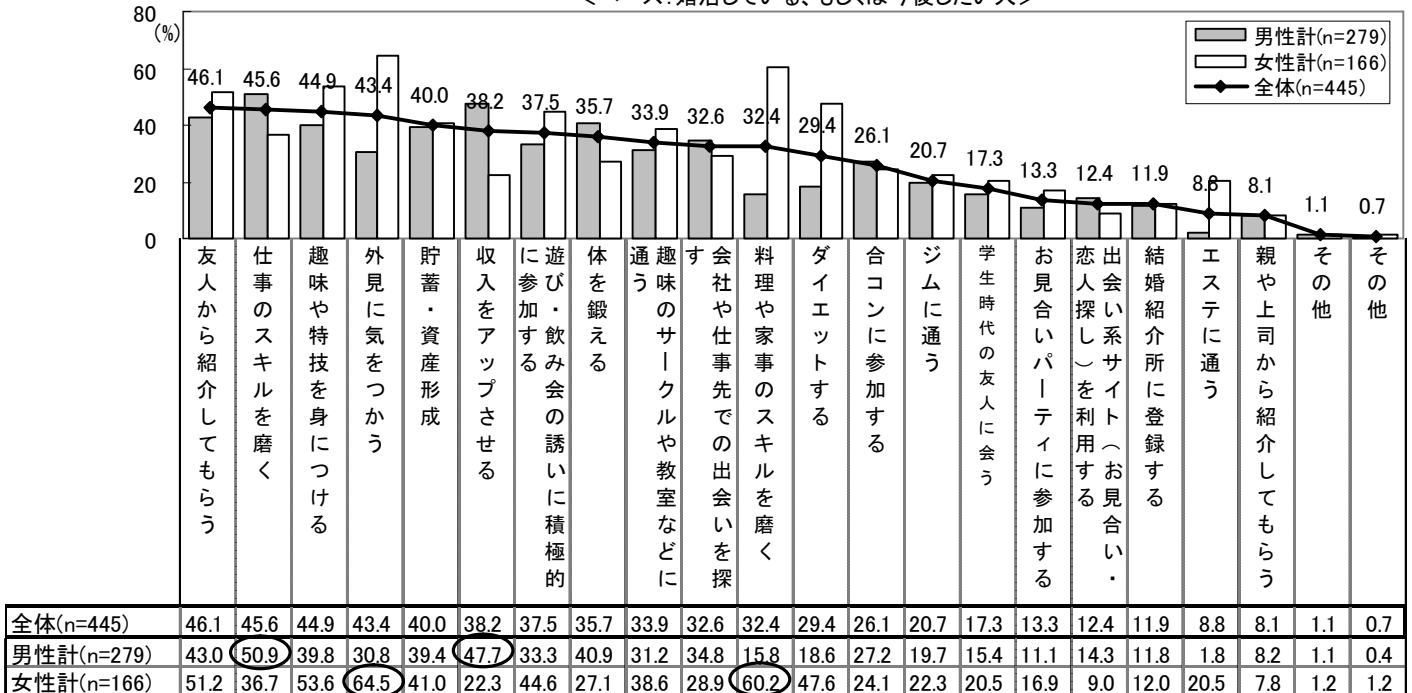
(図11)



■ 今後したい婚活、女性は「外見磨き(65%)」「料理と家事のスキルアップ(60%)」
男性は「仕事のスキルを磨く(51%)」「収入をアップさせる(48%)」

現在婚活中の人と今後婚活を予定している人に対して、これからどのような婚活をしたいと思っているか尋ねました。男性では「仕事のスキルを磨く」が51%で最も多く、次いで「収入をアップさせる」が48%でした。一方、女性では「外見に気をつかう」が65%で最も多く、次いで「料理や家事のスキルを磨く」が60%となっています。(図12)

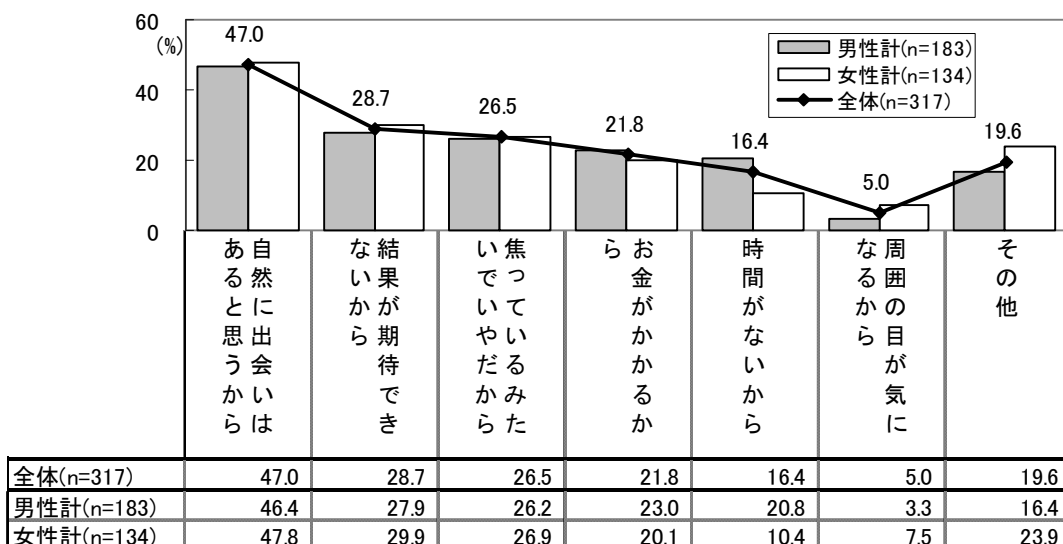
【図12】これから行いたい婚活
Q.あなたは、婚活にあたって、これから新しきどのようなことをしたいと思いますか。(複数回答)
<ベース:婚活している、もしくは今後したい人>



■ 婚活をしたいと思わない理由は「自然に出会いはあると思うから」が47%で最多

今後も婚活をするつもりがない人に、婚活をしたいと思わない理由について尋ねたところ、「自然に出会いはあると思うから」が47%で最も多く、次いで「結果が期待できないから」が29%、「焦っているみたいでいやだから」が27%となりました。(図13)

【図13】婚活したいと思わない理由
Q.あなたが、婚活をしたいと思わない理由をお知らせください。(複数回答)
<ベース:婚活を今後するつもりがない人>

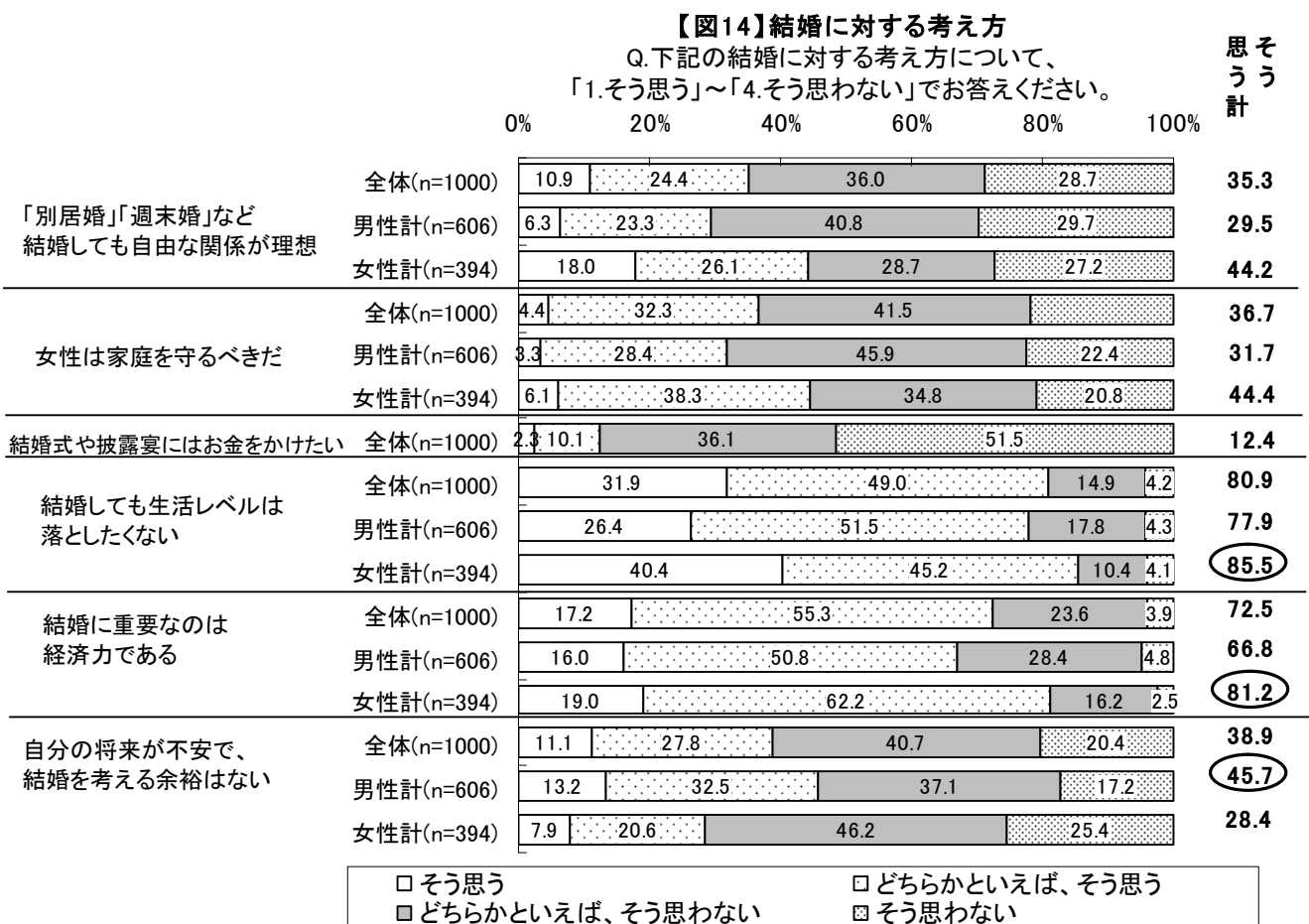


■ 女性は「経済力を重視」、一方で男性は「将来が不安で、結婚を考える余裕がない」

結婚に対する意識を尋ねたところ、結婚式に関して、「結婚式や披露宴にはお金をかけたい」と考えている人は12%でした。

結婚後の経済面に関しては、女性で「結婚しても生活レベルは落としたりたくない」と回答した人は86%、「結婚に重要なのは経済力である」は81%となっています。女性は男性に比べ結婚に対して経済力を重視する傾向がみられました。一方、男性は「自分の将来が不安で、結婚を考える余裕はない」と考えている人が46%と半数を占めています。男女間で結婚のための経済的条件に関して、理想と現状がかみ合っていない様子です。

結婚後の生活について、女性は「別居婚・週末婚など結婚しても自由な関係が理想」が44%と男性(30%)よりも多く、結婚しても比較的自由な生活を望んでいるようです。しかし、「女性は家庭を守るべきだ」と回答した割合も、女性が44%と男性(32%)に比べ多くっており、自由な結婚スタイルを求める女性と、結婚に対して保守的な女性が混在している様子が窺えます。(図14)



■ 男性は経済面での準備、女性は積極的な機会作りと自分磨きに関するエピソードが多数

婚活に関するエピソードを自由回答形式で具体的に記入してもらいました。

20代は合コンに関するコメントが多く、30代からは結婚相談所への登録を通しての体験談などが多くありました。また、男性は貯蓄や資産形成といった、経済的な面で結婚に向けて準備をしている人が多いようです。女性は、料理教室に通ったり外見に気を遣ったりなどの自分磨きのほか、積極的にお見合いパーティーなど出会いの場へ参加している様子です。(図15)

【図15】婚活の具体的内容・エピソード(一部抜粋)

あなたがやっている、もしくはこれまで行った婚活の内容やその結果、エピソードなどをお知らせください。	性別	年齢(才)	職業
私は昔好きなものの趣味で集まるオフ会に参加した際、婚活を行ってみました。結果はなかなか進展せず趣味の合う友達として終わってしまいました。今でも会うたびにその関係は変わりません。	男性	26	学生
婚約指輪を買うために貯金をしている。なるべくお金を残すようにはしている	男性	27	会社員(技術系)
今の彼女ができる前は、職場に女性が少なかったため合コンを開催することが多かった。友人と連絡を取り合っており、幹事を持ち回りにすることで、効率よく合コンを開催できました。	男性	28	その他
婚活と言えるかはわからないが、SNSの趣味のコミュニティでそれらしいスレッドが立っていたら読んだり書き込んだりしている	男性	29	会社員(技術系)
結婚した友人や会社の先輩に、「良い人いないですかね～」とそれとなく、尋ねてみたが、みな、「探してみるよ」と言ったきりで、特段良い紹介が無かった。やはり人を頼る婚活ではなく、自分自身が積極的に参加する活動でないと駄目だと実感した。	男性	30	会社員(事務系)
お見合い5回ほどするがいいと思う人がいなかった。出会い系サイトで何人かと付き合ったが、結婚にはいたらなかった。コンパは何十回もしているがよい出会いがない。社内の飲み会もできるだけ参加しているが、身近すぎてなかなかうまくいっていない。	男性	32	会社員(技術系)
一度結婚相談所に登録したものの、評判や実態を聞いてやめた。最近の女性の、男性に対する要求が高すぎて無理だと分かった。また、結婚を前提とした出会いサイトにも登録したが、同様の理由でやめた。年収1000万以上ないと結婚は無理と結論付けた。	男性	34	会社員(技術系)
何もしていない。低収入なので、結婚はしたいが、無理なものだと思っている。そう思われる経験を過去に何度もしている。今は相手がどうこうではなく、低収入で結婚しても自分がつらいだけだと思っている。	男性	37	その他
合コンに積極的に参加しました。結果的に、合コンで出会う人々とはあまりその後繋がる縁がなく、社内で恋人を見つけました。今は全くできない料理を何とか少しでもできるようにしたい、と週2~3回は料理をするようにしています。	女性	25	会社員(事務系)
料理教室に通っています。最初は、料理ができるようにならないと結婚できないと思って通い始めましたが、やっているうちに自分がすごく楽しんでいてストレスを発散していることに気づいた。彼のためにも積極的に料理もするし、自分の趣味が増えて満足しています。	女性	25	会社員(事務系)
友人の紹介でお見合いパーティーに数回行ったが経済的に余裕のない男性が多くて失望した。自分よりも収入の少ない男性が多かった。	女性	27	自営業
初めて会った男性に「もし婚約したら、いいレストランに連れて行ってあげるよ。逃げられたら困るからね。」と言われてかなり引き寄せられました。当然、その後は会っていません。	女性	29	会社員(事務系)
数年前、交際相手がいなかったときは、とにかく合コンには必ず参加しました。相手探し云々もさることながら、初対面の男性に対するフットワークがかなり身につきました。真剣に婚活をする友人は、紹介サービスの会員になり、実際に結婚しました。	女性	30	会社員(事務系)
お見合いパーティーや合コンに多くかけていますが、なかなか自分の思う相手と出会えないので時間とお金の無駄に思うことがあります。確実性を求めて結婚相談所に登録予定です。	女性	34	会社員(技術系)
結婚相談所で出会った人がいて、出会った場所が場所だけに当然真面目に考えているものと思ったが、次から次へ女の人をとっかえひっかえしている人に一度あたってしまって最悪な思いをしたことがある。	女性	37	その他
うまく行っている友達をみればうらやましく感じることもあるが、それとは逆の結婚生活を送った友達を見ていると自分には務まらないと思う。	女性	41	パート・アルバイト

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 80 万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億3,035万円 ※2008年9月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■276名 ※2009年1月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：関・大野
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」